

TAZMO®

第45期 年次報告書 2016年1月1日~2016年12月31日

Technology for People's Future

グループ最高益の達成 原価低減による利益率の向上 「挑戦」の姿勢を貫く時



代表取締役社長 池田 俊夫

- ・ 研究開発への積極的な投資
- ・ 市場・環境の変化に柔軟に対応

▶ 業績及び事業報告

2016年の世界経済は、中国や新興国、産油国等の景気の減速、英国のEU離脱問題などにより、急激な円高や世界的な株価の下落が進行しました。また、米国では景気が緩やかに回復しましたが、新大統領が就任した後の経済政策の影響など、世界経済の先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。半導体・液晶業界におきましては、液晶パネルの大型設備投資は中国に限定的となっておりますが、スマートフォンやタブレット端末、ノートパソコン等の電子機器向けや車載用など半導体の使用量は年々増加しており、海外半導体メーカーの設備投資は堅調に推移しました。

当社グループの業績につきましても、一昨年度は5期ぶりの黒字化を達成することができましたが、昨年度は過去最高益を計上することができました。

▶ 今年度の見通し

今年度の見通しは先述しましたように、米国新大統領の経済政策や英国のEU離脱による影響など、世界の政治情勢の影響が不透明ではありますが、DRAM

やフラッシュメモリ、車載用などが市場をけん引し、半導体業界は引き続き堅調に推移するものと予測しており、それに伴い半導体関連の設備投資も好調を維持するものと予測しております。しかし、ユーザーからの値下げ要求は続いており営業的に厳しい状態が続いておりますが、さらなる原価低減により利益率を向上させることを目指してまいります。

また、ここ数年は少し抑えておりましたが、研究開発への積極的な投資も再開いたします。新しい事業の柱となる製品の開発により、売上・利益の拡大を目指してまいります。

▶ 中期経営計画

昨年度は、2016年2月12日に「タツモグループ中期経営計画(TAZMO Vision 2018)」を発表し、新しい中期経営計画初年度として事業を展開してまいりましたが、1年目で計画を大きく上回る結果を出すことができました。そこで、当社グループは事業のさらなる発展を果たすため、今年度新たに「タツモグループ中期経営計画(TAZMO Vision 2019)」を策定し、新たな中期経営計画初年度として事業を展開してまいります。

当社グループが属します半導体・液晶業界は中国などを中心に目まぐるしく変化しております。市場・環境の変化に柔軟に対応すべく、全社一丸となって頑張っております。

▶ 株主の皆さまへ

第44期に引き続き、第45期も利益計上・配当を実施することができました。特に第45期はグループとして過去最高益を計上することができました。今後もさらなる発展を目指し、全力で頑張っております。どのような状況にあっても、あらゆる可能性を追い求め、決してあきらめず、やり通す。当社の経営理念である「挑戦」の姿勢を貫いてまいりますので、株主の皆さまには、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※平成29年3月1日に株式会社ファシリティの子会社化を決定いたしました。ファシリティはプリント基板製造装置(メッキ処理装置、回路形成装置など)の製造・販売を行っており、タツモグループが子会社化することで、ファシリティの持つ技術と当社の持つ技術にて半導体・液晶分野での共同開発、シナジー効果を期待しています。また、中国にあるファシリティの孫会社を活用することで、当社製品の中国内での製造拠点とすることができ、当社グループの更なる成長が見込めるものと考えております。



富萊得科技(東莞)有限公司(中国)

事業の概況

2016年度 連結業績

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、液晶パネルの大型設備投資は中国に限定的となっておりますが、スマートフォンやサーバーの高機能化や車載用など半導体の需要は年々増加しており、海外半導体メーカーの設備投資は堅調に推移しました。このような経営環境のなか、当社グループは、原価低減及び安定的供給活動を進めるとともに、顧客ニーズに対応した装置の開発と積極的な営業を展開してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は11,329百万円（前期比7.6%減）、営業利益1,346百万円（前期比32.9%増）、経常利益1,397百万円（前期比47.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,284百万円（前期比25.7%増）となりました。

2016年度 連結業績

| | 2016年度 当連結会計年度 自2016年1月1日 至2016年12月31日 | ご参考 | |
|---------------------|---|---------------------------------------|--------------|
| | | 前連結会計年度 自2015年1月1日 至2015年12月31日 | 対前年同期 増減率 |
| 売上高 | 11,329 百万円 | 12,258 百万円 | 7.6%減 |
| 営業利益 | 1,346 百万円 | 1,013 百万円 | 32.9%増 |
| 経常利益 | 1,397 百万円 | 949 百万円 | 47.2%増 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1,284 百万円 | 1,021 百万円 | 25.7%増 |

セグメント別概況

プロセス機器事業

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、納期や価格は厳しい状況ですが、半導体メーカーの設備投資の増加により、売上高は3,429百万円（前期比7.2%増）となりました。

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、スマートフォンやサーバー、車載用など半導体の需要が堅調であったため、売上高は2,732百万円（前期比32.5%増）となりました。

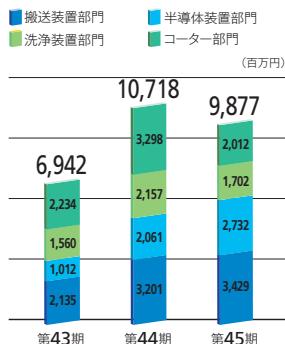
洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、前年と比較すると国内半導体メーカーの設備投資が減少したため、売上高は1,702百万円（前期比21.1%減）となりました。

コーター部門

コーター部門につきましては、中国における液晶製造装置の受注は増えてきましたが大型装置の検収が減少したため、売上高は2,012百万円（前期比39.0%減）となりました。

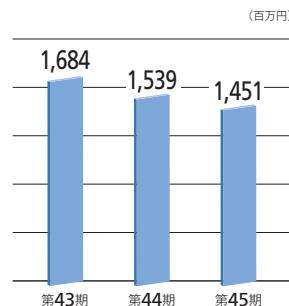
以上の結果、プロセス機器事業の売上高は9,877百万円（前期比7.8%減）となりました。



金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、価格競争により受注状況が厳しく、海外子会社での人件費や諸経費高騰のため、利益面でも厳しい状況が続いております。

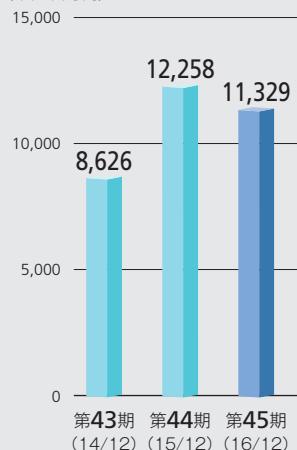
以上の結果、金型・樹脂成形事業の売上高は1,451百万円（前期比5.7%減）となりました。



財務ハイライト(連結)

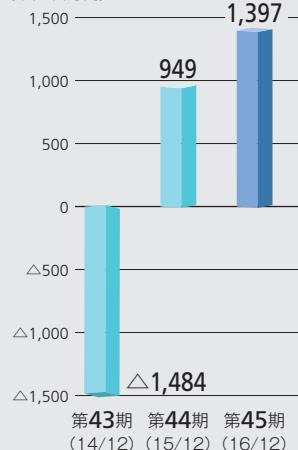
売上高

(単位:百万円)



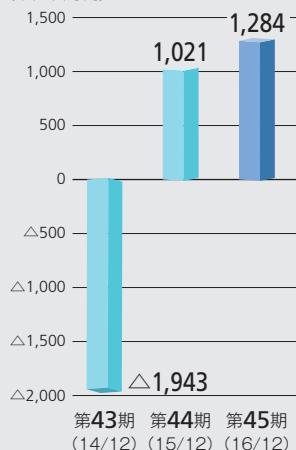
経常利益

(単位:百万円)



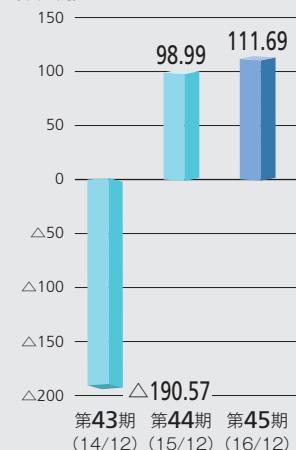
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



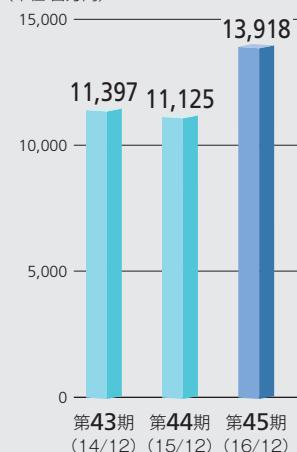
1株当たり当期純利益

(単位:円)



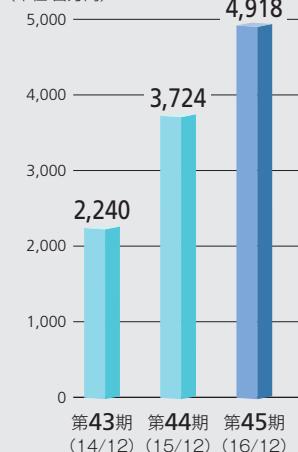
総資産

(単位:百万円)



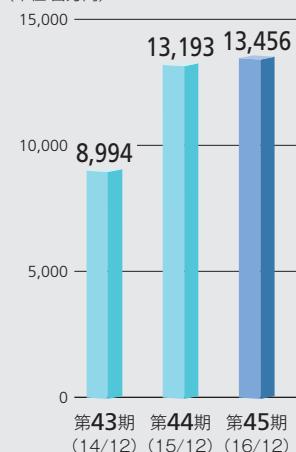
純資産

(単位:百万円)



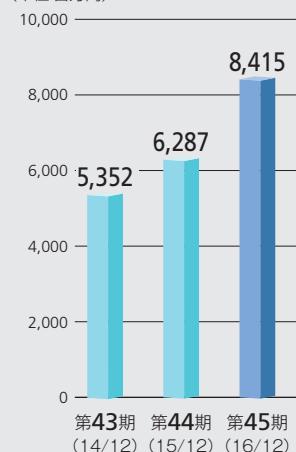
受注高

(単位:百万円)



受注残高

(単位:百万円)



(注)2017年1月1日付で1:3の株式分割を行っておりますが、当連結会計年度及び過年度のそれぞれの期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 前連結会計 年度末 (平成27年12月31日) | 当連結会計 年度末 (平成28年12月31日) |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 7,041 | 10,071 |
| 固定資産 | 4,084 | 3,846 |
| 資産合計 | 11,125 | 13,918 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 5,806 | 7,337 |
| 固定負債 | 1,594 | 1,662 |
| 負債合計 | 7,400 | 8,999 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 3,406 | 4,684 |
| 資本金 | 1,622 | 1,627 |
| 資本剰余金 | 2,136 | 1,549 |
| 利益剰余金 | △ 351 | 1,508 |
| 自己株式 | △ 0 | △ 0 |
| その他の包括利益累計額 | 236 | 140 |
| 為替換算調整勘定 | 236 | 140 |
| 新株予約権 | 31 | - |
| 非支配株主持分 | 50 | 93 |
| 純資産合計 | 3,724 | 4,918 |
| 負債及び純資産合計 | 11,125 | 13,918 |

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前連結会計年度 (自平成27年 1月 1日 至平成27年12月31日) | 当連結会計年度 (自平成28年 1月 1日 至平成28年12月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 12,258 | 11,329 |
| 売上原価 | 9,073 | 7,513 |
| 売上総利益 | 3,184 | 3,815 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,171 | 2,469 |
| 営業利益 | 1,013 | 1,346 |
| 営業外収益 | 44 | 107 |
| 営業外費用 | 107 | 56 |
| 経常利益 | 949 | 1,397 |
| 特別利益 | 10 | 91 |
| 特別損失 | 51 | 136 |
| 税金等調整前当期純利益 | 909 | 1,352 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74 | 82 |
| 法人税等調整額 | △ 184 | △ 30 |
| 当期純利益 | 1,018 | 1,300 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | △ 2 | 15 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,021 | 1,284 |

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

▶ 会社概要 (2016年12月31日現在)

| | |
|------------|---|
| 商号 | タツモ株式会社 |
| 本社所在地 | 〒715-8603 岡山県井原市木之子町6186番地 |
| 設立 | 1972年2月 |
| 資本金 | 1,627,727千円 |
| 事業内容 | 半導体製造装置・搬送ロボット、液晶製造装置、精密金型及び樹脂成形品などの開発・製造・販売 |
| 従業員数 | 226名(連結655名) |
| 営業所・工場及び支店 | 第三工場・第五工場／東京営業所・岡山技術センター |
| 子会社 | プレテック株式会社 アプリシアテクノロジー株式会社 TAZMO INC.(米国) 上海龍雲精密機械有限公司(中国) TAZMO VIETNAM CO.,LTD.(ベトナム) 亞普恩科技股份有限公司(台湾) 龍雲阿普理夏電子科技(上海)有限公司(中国) |
| 主要取引銀行 | 株式会社中国銀行 株式会社商工組合中央金庫 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 |

▶ 取締役及び監査役 (2017年3月29日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 池田俊夫 |
| 常務取締役 | 亀山重夫 |
| 取締役 | 藤原壽太郎 |
| 取締役 | 上田修治 |
| 取締役 | 河上賢二 |
| 取締役 | 佐藤泰之 |
| 取締役 | 鳥越琢史 |
| 取締役 | 曾根康博 |
| 社外取締役 | 大山邦雄 |
| 社外取締役 | 藤原準三 |
| 常勤監査役 | 山本正治 |
| 社外監査役 | 佐々木健 |
| 社外監査役 | 岡友和 |

▶ 株式の状況 (2016年12月31日現在)

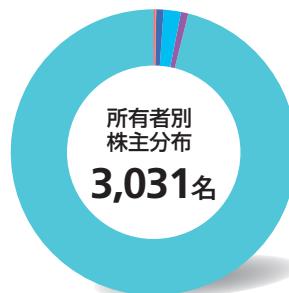
株式の総数

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 13,600,000株 |
| 発行済株式の総数 | 3,836,100株 |
| 株主数 | 3,031名 |

大株主(上位11名)

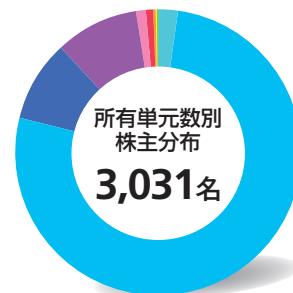
| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|----------------------|-----------|---------|
| 株式会社大江屋 | 745,000 株 | 19.42 % |
| 弘塑科技股份有限公司 | 400,000 | 10.42 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 197,200 | 5.14 |
| 日本証券金融株式会社 | 127,900 | 3.33 |
| タツモ従業員持株会 | 103,300 | 2.69 |
| 中銀リース株式会社 | 101,500 | 2.64 |
| 鳥越 琢史 | 85,000 | 2.21 |
| 株式会社中国銀行 | 74,500 | 1.94 |
| 鳥越 紀男 | 70,000 | 1.82 |
| 中銀カード株式会社 | 60,000 | 1.56 |
| 中銀保証株式会社 | 60,000 | 1.56 |

(注)持株比率は自己株式数(509株)を控除して算出しております。



| | |
|-----------|--------|
| 政府・地方公共団体 | 0名 |
| 銀行 | 2名 |
| 信託銀行 | 3名 |
| 生命保険会社 | 1名 |
| 損害保険会社 | 0名 |
| その他金融機関 | 1名 |
| 金融商品取引業者 | 19名 |
| その他法人 | 43名 |
| 外国法人等 | 23名 |
| 個人・その他 | 2,939名 |

*自己株式は個人・その他に含めて記載しております。



| | |
|------------|--------|
| 1 単元未満 | 74名 |
| 1 単元以上 | 2,320名 |
| 5 単元以上 | 277名 |
| 10 単元以上 | 288名 |
| 50 単元以上 | 38名 |
| 100 単元以上 | 23名 |
| 500 単元以上 | 5名 |
| 1,000 単元以上 | 5名 |
| 5,000 単元以上 | 1名 |

*自己株式 509 株は 5 単元以上に含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒715-8603 岡山県井原市木之子町6186番地

▶ 株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(〒541-8502)
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- お問い合わせ先
0120-094-777(フリーダイヤル)
 - 各種お手続き用紙のご請求
0120-684-479(フリーダイヤル)
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>
- 公告の方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.tazmo.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【手続き書類のご請求方法】

- 音声自動応答電話によるご請求 0120-684-479(フリーダイヤル)
- インターネットによるダウンロード <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

ホームページのご案内

タツモのホームページでは当社の最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下記のアドレスよりご覧ください。



株主・投資家情報



企業情報



<http://www.tazmo.co.jp/>